

センター通信

発行: 逗子文化プラザ市民交流センター(2019年11月1日 vol.111)

NEWS 最新のお知らせ

12月1日(日)~6日(金)は換水清掃作業のため終日利用できません。



市民交流センターフェア

参加
無料

2019年12月7日(土)

会場: 市民交流センター・文化プラザさざなみホール

逗子
再発見



午前の部

● 知っ得ずし Q&A クイズ大会 10:00~12:00 (開場 9:30)

「知っ得ずし Q&A」とは、逗子に関する自然・景観、歴史・旧跡、寺院・神社、文化・芸術、暮らし・生活などの分野にわたり、サードエイジ連続講座(逗子市社会教育委託事業)の受講生が中心になってまとめたものです。

会場: 市民交流センター会議室

定員: 先着 90 名(申込み不要) 対象: 小学生以上(親子歓迎)

主催: NPO 法人逗子まちなかアカデミー

問合せ: 田中 090-6114-1748

私たちのまち、逗子のことを
もっと知りたい! 広めたい!
ご家族そろってご参加下さい。

● 市民活動団体 展示パネル展 10:00~17:00 ごろ

会場: 交流センター2F 展示コーナー 12月7日(土)・8日(日)

こんなメリットがあります!

パネル展 参加団体募集!!

定員: 先着 30 団体まで

展示パネル仕様: A1 サイズ(600mm×900mm)のスチレンボード(縦)

に、模造紙、写真、イラストなどを貼付けて展示。

申込み: 市民交流センター受付に設置の申込用紙に必要事項を記入して窓口へ提出してください。

応募期間: 11月1日(金)~11月24日(日) 展示物提出締切: 12月1日(日)

日頃の活動の風景を紹介し、新しいメンバーの募集に!
取り組んでいる課題を紹介し、市民の関心を高める!
団体の得意なことを紹介し、活動に触れる人を増やす!
団体が困っていることを紹介し、助けてくれる人を募集!

午後の部

パートナーシップミーティング 2019 in 逗子

会場: さざなみホール 14:00 ~ 18:30



【第1部】

基調講演「さまざまな主体の出会いと新しい動きをつくり出す場」

14:00~15:30

講師: 山岡義典氏 特定非営利活動法人市民社会創造ファンド理事長・特定非営利活動法人日本 NPO センター顧問

【第2部】

「企業と NPO と市民の協働」の事例発表 / ワークショップ / 交流会

16:00~18:30

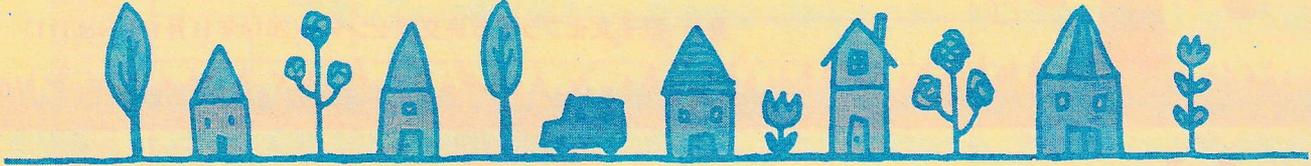
お申込み・お問合せ

市民交流センター窓口および電話・FAX・メールフォームで受付

お問合せ TEL: 046-872-3001 FAX: 046-872-3003 E-MAIL: ac-center@zushi-psc.org



ずしまちクエスト商店街たんけん隊！ 参加者募集！



「ずしまちクエスト」とは、小学生が商店街をフィールドワークし、まちの仕事や、それに従事する人と会うことを通じて自分が住むまち、そして働くことに興味・関心を持つきっかけをつくるプログラム。毎回大人気の子ども向けイベントです。

- 日時** 2019年11月23日(土・祝) 13:00～17:00
場所 市民交流センター / 逗子駅周辺商店街
料金 1000円(材料費・保険代)
持ち物 筆記用具・飲み物
対象 小学2年～5年生
定員 先着15名



運営：辻 義和さん
 探究型・プロジェクト
 学習型アフタースクール
 “まなび舎ポート” 代表
<http://bootto.strikingly.com>

お申込み：11月1日(金) 9:00から逗子文化プラザ市民交流センター窓口・電話・FAX・メールで受付
 お申込・お問合せ：TEL：046-872-3001 FAX:046-872-3003 E-MAIL：ac-center@zushi-psc.org



講座カリカえり . . .

市民活動スヌ講座

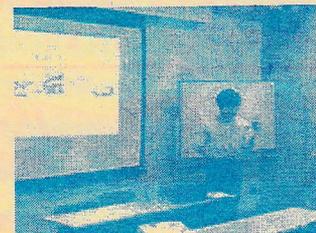
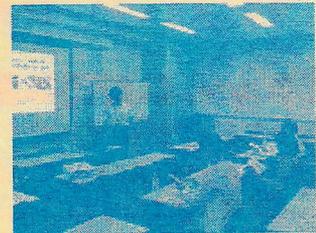
こんなに使える！ 市民交流センター活用法

- 開催日時** 2019年9月20日(金) 18:30～20:30
参加者数 6名
講師 藤沢市民活動推進センター 細矢岳彦氏
受講満足度 5.0点中4.0点

参加者の受講動機をうかがい、参加者それぞれが地域でなにか活動したいという思いがあることを確認しました。市民活動とはどのような活動のことを指すのか、またその市民活動を支援する施設にはどのような機能や役割があるのかについて、講師の所属する藤沢市民活動推進センターの例を挙げてご説明いただきました。

後半は、話題を逗子に移し、逗子文化プラザ市民交流センターの館内をひとまわりし、市民活動団体が使用できる施設や設備についての案内を行いました。

参加者はみな市民交流センターを利用したことのない人たちばかりでしたが、講座の後は講師に熱心に質問をするなど、今後実際に活用いただける方にご参加いただけたと感じました。





「地域インタビュー」について



神奈川県立逗子高等学校が地域連携教育の一環として実施している「地域インタビュー」という企画をご存知ですか？市民交流センターはこの企画に協働事業という形で関わっています。

「地域インタビュー」とは「総合的な学習の時間」の学習活動として、地域で様々な活動や仕事をしている方々にインタビューを行い、その内容をまとめ、校内発表会・結果発表を通じて発信するという、高校生にとっては中々ハードな内容の企画です。市民交流センターとしては予めインタビューを集めたり、事前レクチャーを開催したりするなどして学校や生徒達をサポートしています。

地域の人々と能動的に関わってみる事は、改めて自己や世界の事を眼差す良いキッカケになると思います。この企画が生徒の皆様の学びの一助となれば幸いです。



事前レクチャー：2019年



実際のインタビュー：2015年

NGOって何ですか？

NPOCLIP vol.49



大学や専門学校でボランティアやNPOについて講義をしています。10月6日が「国際協力の日」ということもあって、10月はNGOについて話す機会を多くとりました。

国内から海外に向け協力・親善・支援活動を行っている市民活動団体の多くは、自分たちの団体紹介の際「NGO」と言います。「NGO」は、「Non-Governmental Organization」の頭文字をつなげた言葉で、「非政府組織・機関」と訳され、政府を代表した組織ではないという主張をしたいときに使われています。国際協力NGOや環境NGOなど、国際協力活動団体や地球環境の保全を目指す環境活動団体に使われる（使っている）ケースが多くなっています。NGOのネットワーク組織である、国際協力NGOセンター（JANIC）のホームページには、『一般的には、開発問題、人権問題、環境問題、平和問題など、地球的規模の問題の解決に、「非政府」かつ「非営利」の立場から取り組む、市民主体の組織を「NGO」と呼んでいます。』と定義されています。日本では、NGOであることを主張しつつも、多くの場合、法人格は「特定非営利活動（NPO）法人」として登記し、活動をしています。つまり、NPOかNGOのどちらなのかではなく、NGOの活動をNPOという運営方針で実施しているということになります。

日本では、JAICAが実施している政府の開発援助活動（ODA）だけではなく、NGOが市民の主体的な活動として世界中で活動しています。国際協力活動を実施しているNPO法人は現在1万団体を超えています。SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」も「誰一人取り残さない」を合言葉に2015年から始まり、2030年までの17の国際目標を立て多くの企業や政府行政、市民活動組織が意欲的に取り組んでいます。市民一人ひとりの気持ちは、足元から世界へと広がっていていることが、講義の中で少しでも伝わると良いなあと願う10月となりました。

※9月10月と災害が立て続けにあり、被災された皆様におかれましては、日々のご苦勞は計り知れないと思います。一日も早く安心した生活に戻れますよう祈念いたします。(Te)



Japan
Committed
to SDGs

